

『ケガ』（3月3日配信）

こんにちは、戸田です。今、ケガしています。そのため、両手ではなく片手手話で話していきますのでご了承ください。ろう者が片手で話す場面は多くあります。飲み物を持っているときや運転中、また片麻痺の方も片手手話ですがコミュニケーションに問題はありません。なので、今日は私も片手手話でお話しします。

今日はこのケガについてお話しします。私はろう学校の幼稚部で働いています。毎日子どもと鬼ごっこをしています。ろう学校の鬼ごっこは、普通の鬼ごっこではありません。どちらかというドロケイに近いですね。泥棒チームと警察チームに分かれて、逃げる泥棒を警察が捕まえ、牢屋に設定した場所へ集めます。泥棒たちは、捕まった泥棒仲間にタッチすることで逃がすことができるというものです。ご存じですよ。

ろう学校の鬼ごっこはドロケイと同じで、鬼が警察の役割をしています。捕まえてはタッチで逃げられる鬼ごっこです。鬼は2~3人と少なめです。ただ、先生が鬼の場合は1人のことが多いです。当然、大人ですから簡単に捕まえられてしまうからです。

先日、私が1人で鬼をやり、子どもたちは逃げ回ります。捕まえて集めて、タッチされないように見張っていた時のことです。6歳の年長の子が捕まった友達を助けるため、走って近づいて来ました。私はタッチされないように左手を伸ばしたところ、その子のお腹付近に薬指をぶつけてしまい突き指のような状態になりました。痛みがあり校内の保健室で湿布をもらい包帯を巻きました。それが火曜日のことです。火曜日と言えば夜に手話ニュースを担当しています。曲がらなくはないので終業後、手話ニュースへ行きました。包帯と湿布を外しなんとか手話ニュースをこなし帰宅しました。眠っていると深夜に、ズキズキと薬指が痛み腫れていました。病院に行ったほうが良いと思い、翌朝すぐに病院へ行きました。レントゲンの結果、骨折もヒビもなく腫れているだけとのこと。固定をこのようにしてもらいました。

以前も鬼ごっこで頭をぶつけて大けがをしましたが、久しぶりのケガがこの突き指です。今、地域で手話講習会の講師をしています。片手手話の読み取りに受講生は悪戦苦闘していました。